

リードディフューザー豆知識

2019年3月

アロマクエスト株式会社

【リードディフューザーとは】

数年前から、インテリア性の高いルームフレグランス（リードディフューザー）が雑貨店を中心に店頭をにぎわせています。

リードディフューザーとは、ガラスビンに芳香液が入っていて、ラタンなどのスティックで芳香液を吸い上げ、部屋中に香りを拡散させるルームフレグランス（芳香剤）のことです。スティックディフューザー、アロマディフューザーとも呼ばれています。溶剤系の芳香剤で、香料濃度も高く、部屋中に香りが広がるので、欧米を中心に流行しています。

ラタンは、東南アジアに自生するヤシ科の植物で、日本では籐（とう）と呼ばれる植物の総称です。ラタンは編んで籠にしたり、家具のフレームなどにも使われています。

リードディフューザーが流行する前は、ソラフラワーというインテリア性の高いルームフレグランスが人気でした。しかし、ソラフラワーは時間とともに花にほこりがたまったり、花が垂れてきたりして見た目が悪くなってしまったため、人気がなくなってしまいました。

リードディフューザーは、欧米で流行した後、日本に入ってきました。雑貨店を中心に、いまではアパレル店、インテ

リアショップでも販売され、ドラッグストアなどのマスマーケット市場でも販売されています。

一方、百貨店や高級インテリア店で1万円以上するものも販売されています。



1) 香りの強さの調節

商品と一緒に入っているスティックは、はじめから全部を使うのではなく、全体の 1/3～1/2 の本数で、試してみてください。2～3時間（できれば一日くらい）待って香りの強さを確認し、香りがまだ弱ければ追加してみてください。2週間～1か月ほど時間が経てくると、だんだんと香りも弱くなってしまいますので、残ったスティックを足せばまた香りは強くなります。

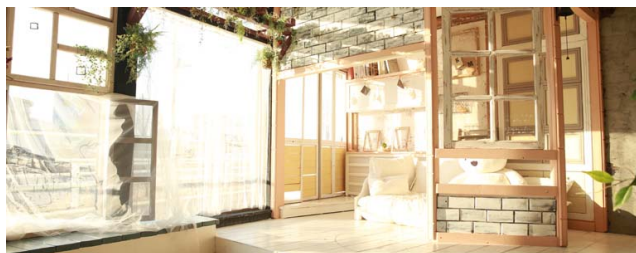
もしスティックを多く挿しすぎてしまったら、香りが強くても気にならない場所（トイレなど一時的に人がいる場所）に置いてみるのも一つの方法です。



2) 広い空間に香らせたい場合

屋外だけでなく家や会社などの建物内にも微量な風の流
れがあります。リードディフューザーを置いて、くんと
その香りを嗅ぎながら、どの方向に香っているかを確認し
ながら何度か場所を変えて最適な場所においてみましょう。
せっかくのいい香りでも、風下の方に商品を置いてしまっ
ては香りが十分に広がりません。また、換気扇がある密閉空
間（会議室など）では、換気扇を付けたときとつけない時で
風の流れが変わるので注意が必要です。

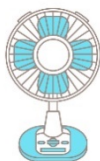
*建物内の風の流れを見るときは、全部の窓を開け放してみ
ると風上風下がわかりやすいです。風船を使ってみるもの
いいでしょう。



3) ルームフレグランスは、室温・風に影響を受けやすい

世界中で日本ほど四季がはっきりしている国はあまりなく、夏と冬の寒暖差・湿度の差は非常に大きいです。気温が高いと、スティックを伝って香りがでるスピードがはやくなり、そのため香りが強くなり、香り液が早くなくなります。また、スティックに風があたることでも、香りがでるスピードがはやくなり、香りも強くなります。

もともと欧米で流行ったリードディフューザー。わたしたち日本で上手に使うにはちょっとしたコツが必要です。



扇風機やエアコンの風のアたるところにリードディフューザーを置いておくと、風の流れて乗って香りが広がっていきます。その分香り液が早くなります。

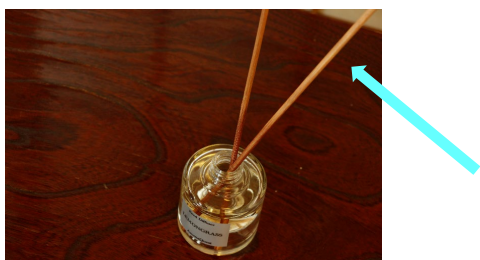
*リードディフューザーの転倒にご注意を！

リードディフューザーを上手に使って、あなただけの空間を演出しましょう！

4) スティックの挿し方

リードディフューザーを購入したが、うまくスティックがさせない、きたなくなってしまう、という声を聞きます。ちょっとしたコツで、見た目にきれいなスティックの並べ方ができます。

まず、スティックを1本さしてください。2本目は1本目の後ろに来るようにさします。



3本目以降も同様に円を描くように順番にさしていくと、きれいに仕上がります。



きっちりした並べ方がお好きでない方は、この挿し方を基本としてアレンジするといいでしょう。

リードディフューザーはインテリア性に優れたルームフレグランスです。自分の部屋に合うように、デザインや香りの質や強さだけでなく、スティックの挿し方もアレンジしてうまく使いましょう。

